

予算作成から経営管理までをシングルプラットフォームで実現

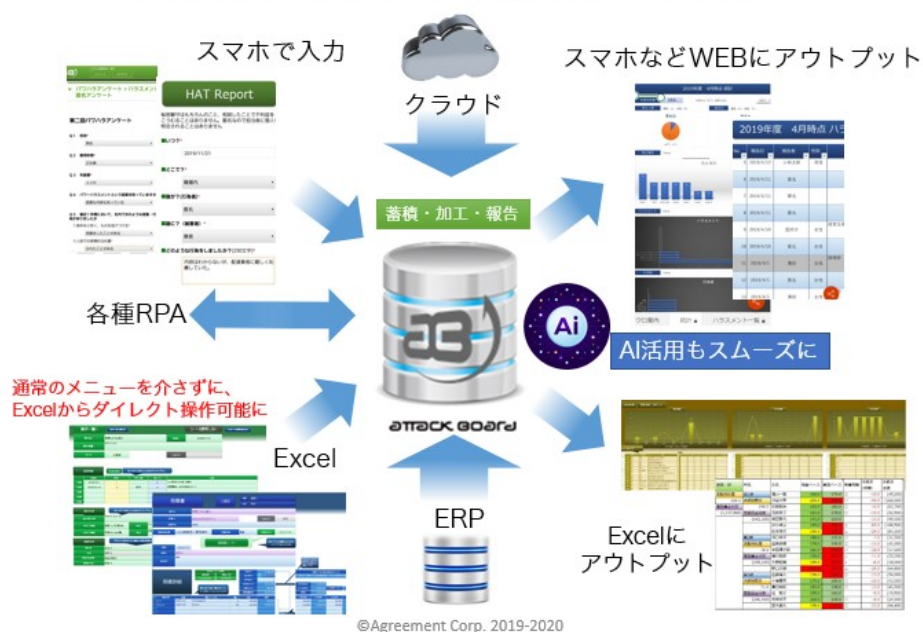
「Attack Board」がリリース直前の Ver5.0 に Excel ダイレクトアクセス機能を実装

株式会社アグリーメントは、今月末にリリース予定のデータ利活用プラットフォーム「Attack Board Ver5.0」に、ログインしなくても、Excel からデータベースに格納されているデータの参照、更新を可能にする機能を実装したことを発表いたします。この機能により、経営者や管理者は、Excel ファイルを開くだけで、最新の経営情報や営業情報などを Excel 上で参照することが可能になります。また、データ入力者は Excel にデータを記入して更新ボタンの操作やフォルダにファイルをドロップするだけで、組織や全社で管理しているデータベースに記入内容を反映することが可能になります。

「Attack Board Ver5.0」は、「Excel での運用は限界です。」という声や「RPA を導入すれば、バラ色のシステムが出来る」という偏った考え方を払しょくすべく、真の DX（デジタルトランスフォーメーション）化への対応と、日本固有の 2025 年の崖（経済産業省）問題をユーザー主導で乗り越えるべく開発されました。

これまで、日本を代表する大手企業から中小企業、公的機関にいたるまで、Excel 自動運用及び社内システムのデータ統合を実現するために導入されてきた「Attack Board」は、昨年 11 月にスマートフォン対応のための WEB 入力画面の作成モジュールや複数テーブルから大容量データを一括ダウンロードできるモジュールを標準装備することを発表しました。さらにこの度、ユーザビリティの向上とコストリダクションを実現する画期的な機能をリリースします。

DXを成功に導く New Attack Board (Ver5.0)



「Attack Board」は内部統制に配慮する必要から、ユーザーログインを必須として、きめ細やかな管理や排他制御を実現していましたが、一部ユーザーからログイン・アウトの作業や、Excel ファイルのアップロード/ダウンロードの手間を解消して欲しいという声もありました。

そのような声にお応えすべく、セキュアな環境下であればログインせずとも「Attack Board」を利用できるようになるため、オペレーションの効率化のみならず、ログイン ID 単位の課金であった導入コストも大幅に削減することも可能になりました。

近年 DX 化は世界的トレンドですが、アメリカの著名調査会社のレポートでは、DX を成功に導くには、どのシステムを入れるかよりも、ユーザー目線でどのような製品・サービスを市場に投入するかを判断できる情報利活用の論点と、異なる業務間やシステム間でのデータ連携をいかにスムーズにするかの議論が必要であると警告しています。

事実、アメリカでも多くの企業が DX 化に莫大な投資を行ったものの、7 割以上が効果を得られていないという結果が出ています。

また、日本には前述のように IT コストの 9 割以上が保守費用に使われ、イノベーションが起きない硬直化してしまっている IT の 2025 年の崖問題が存在しています。

「Attack Board Ver5.0」では、誰でも利用できて、必要な業務アプリケーションを短期間でリリース可能なほか、単なる業務効率化ではなく、大幅にお客様の企業力向上に貢献できるシステムとなっている上に、簡単にデータを一元化できるので、市場環境の変化への迅速な対応や、AI 活用時の精度向上にも役立ちます。

後悔しない IT 投資のためにも、まず、自社の情報整理と利活用を実現できる「Attack Board Ver5.0」にご期待ください。